



IT × 医療の取り組み

医療とITが融合した 新ビジネスの創出を支援

札幌市は、全国でも先駆けてIT産業の振興に取り組んでおり、現在では国内有数のIT企業の集積地となっています。『札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム』や『Sapporo AI Lab』などの、民間企業を中心とした取組・動きも活発です。こうしたIT産業が集積する強みを生かし、IT分野の企業の医療分野への参入の促進や、医療分野の企業のIT活用を後押しする、医療とITが融合した新ビジネスの創出を支援しています。

◎補助制度の一部を紹介

IT利活用促進事業費補助金(2018年度分)

補助対象者	札幌市内に本社のある中小企業者及び企業グループ
対象となる取組	自社の経営課題(自社の商品やサービスの高付加価値化を図る、更なる販路を拡大する、あるいは業務効率化を図るために自社業務を改善するなど)を解決するために、ITの利活用を行う。
対象経費	札幌市内中小IT企業との間で発生する、①事業費(ソフトウェア開発委託費)、②設備備品費(ハードウェアおよびソフトウェアの購入費および使用料)
補助上限・補助率	上限200万円/件(補助率1/2以内)

※当該制度概要は2018年時点のものです。実施年度により変更・廃止となる場合があります。

[PICK UP 補助制度の採択事例]

「化合物の化学的・生物学的 データ管理のためのグラフデータベースの構築」

2018年度 IT利活用促進事業費補助金

・株式会社 スカイシーファーマ

Company Profile

設立: 2015年 従業員数: 3人
代表者: 小上 裕二

札幌市北区北12条西4丁目1番16号
TEL.011-299-6595

http://www.skyseapharma.com
Mail: info@skyseapharma.com

※企業詳細はP23へ。

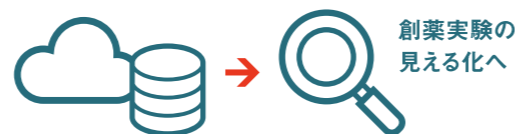
・株式会社 テクノフェイス

Company Profile

設立: 2002年 従業員数: 25人
代表者: 石田 崇

札幌市中央区北1条西3丁目3番地
敷島北一条ビル6F
TEL.011-242-6606 FAX.011-242-6607

http://www.technoface.co.jp
Mail: info@technoface.co.jp



(株)スカイシーファーマは、創業を事業の柱とするベンチャー企業。新しい医薬品を発見する「創業」では、化学的・生物学的な多種多様なデータを大量に扱います。創業企業では、この大量のデータを分析・抽出して、その結果をもとに仮説を立てたり、候補を探したりするプロセスが幾度となく発生します。そのため、各企業では、さまざまなデータベースを使ってデータ管理を行っていますが、「構造式を基本とする化合物のデータ管理」を行うには、従来のデータベース(リレーショナルデータベース)だと、管理も作業も非常に煩雑でミスを起こす確率が高いという問題点がありました。そこで、「グラフデータベース」という構造式が可視化された状態のデータベース構築を目指して、札幌市内のIT企業(テクノフェイス社)との協業により、プロジェクトを実施しました。

化合物の相関関係が可視化され、
効果的な創薬実験が可能に >>>
より戦略的な創薬環境の実現へ

問い合わせ / 一般財団法人さっぽろ産業振興財団情報産業振興部
TEL.011-814-5021 Mail: it-pro@sec.or.jp



[参入促進セミナー]

主にIT企業やものづくり企業を対象として、医療分野に参入するにあたり必要な規制等の基礎情報や、医療分野でITを活用したビジネスの最新事例などを紹介するセミナーを開催しています。

◎参入促進セミナー (2018年度の開催実績)

●2018年8月2日(木) <導入編>

最新デジタルヘルス動向とスマートヘルス

・「デジタルヘルス業界の現状と展望」

日経BP社 日経デジタルヘルス

編集長 小谷卓也氏

・「VR・IoTを用いたヘルスサービスの構築」

北海道科学大学 講師 加藤 士雄氏

・「本市内企業の事例紹介」

ボーダレス・ビジョン(株)、メドグラフィカ(株)

●2018年9月4日(火) <発展編>

ヘルスケア×IT最前線

・「ヘルスケアにおけるブロックチェーン活用の現状と可能性」

ITヘルスケア学会代表理事

国立保健医療科学院

研究情報支援研究センター長 水島 洋氏

・「VR、AIが進める医療の

デジタルトランスフォーメーション」

Holoeyes(株)

・「ブロックチェーンを活用した

医薬品売買システムのPoC等について」

(株)INDETAIL

[札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム]

2016年8月に産学官により設立された本コンソーシアムでは、大学等における先端的な研究成果の蓄積と、全国有数のIT産業の集積という札幌が持つ2つの強みを活かし、札幌における先端技術を活用したビジネスの創出を目指しています。

IT関連の技術やビジネスに関する普及啓発のほか、2017年6月にはコンソーシアム傘下の部会として“SAPPORO AI LAB”を設立し、AI(人工知能)にフォーカスした取り組みを実施しています。



「SAPPORO AI LAB」では先端技術の中でもAIに特化して活動を行っています。AIを活用可能なエンジニアやビジネスプランナーなどの人材不足に対応するための「札幌AI人材育成プログラム」といった人材育成事業や、企業・大学等の連携によるAIプロジェクトの創出を促すコーディネート業務等の活動を通じて、札幌におけるAI活用の促進に貢献しています。



Sapporo Creative Convention



テクノロジーやアイデアで未来の社会を切り開く

「まちに、未来を、インストール。」をテーマとして、札幌市内中心部を舞台に「会議」「展示」「興行」「交流」「実験」の5つの事業を展開するクリエイティブコンベンション「No Maps」。先端テクノロジーの展示・体験やセミナー・ワークショップ、札幌国際短編映画祭や音楽ライブイベントなどが一体的に開催されます。新たなビジネスを生み出し、加速させるために、産学官が一体となって、企業やクリエイターのテクノロジーやアイデアの発表・交流の場、先端技術やサービスの実験の場を提供します。過去のイベントでは、バイオ×デジタルをテーマとしたカンファレンスも実施されました。

